
中心市街地活性化基本計画 令和4年度最終フォローアップ報告

令和5年8月

内閣府地方創生推進事務局

目 次

I. 中心市街地活性化基本計画 令和4年度最終フォローアップの概要	1 ページ
II. 計画期間終了後の中心市街地活性化基本計画の評価	2 ページ
(1) 進捗・完了状況及び活性化状況について	
(参考①) 中心市街地活性化協議会の評価について	
(参考②) 市民からの評価、市民意識の変化について	
III. 目標指標分野別分析結果の概要	4 ページ
(1) 集計結果	
(2) 取組の進捗状況	
(3) 目標達成の状況	
(4) 基準値からの改善状況	
IV. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告	10 ページ

※好事例集については、別途とりまとめ内閣府ホームページにて公表します。

I. 中心市街地活性化基本計画 令和4年度最終フォローアップの概要

最終フォローアップについて

- 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画では、各自治体が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 当該基本計画については、各自治体自ら計画期間満了後に、関連する事業等が予定どおり完了したのか、目標は達成されたのか等を自己評価（最終フォローアップ）として報告することとしている。
- 最終フォローアップによって明らかとなった評価結果を踏まえ、必要と認められる場合には、新たな基本計画の作成を含め中心市街地の活性化に資する取組を引き続き継続的に実施していくことが重要である。

令和4年度最終フォローアップ対象計画

16 市町 16 計画 56 指標 （詳細は P. 10 に掲載）

【参考：令和3年度】15 市 15 計画 60 指標

取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果

- 最終フォローアップ対象 56 指標のうち、関連する事業等が概ね予定どおり完了した指標は 50 指標（89%）であった。
- また、目標達成状況については、計画当初（基準値）より改善した指標が 23 指標（41%）、目標の達成に至った指標が 13 指標（23%）であった。

	関連事業が概ね予定どおりに完了した	関連事業が予定どおりに完了しなかった	合計
計画当初より改善	22指標（39%） 〔23指標（38%）〕	1指標（2%） 〔1指標（2%）〕	23指標（41%） 〔24指標（40%）〕
うち目標達成	13指標（23%） 〔13指標（22%）〕	0指標（0%） 〔0指標（0%）〕	13指標（23%） 〔13指標（22%）〕
計画当初より悪化	28指標（50%） 〔27指標（45%）〕	5指標（9%） 〔9指標（15%）〕	33指標（59%） 〔36指標（60%）〕
合計	50指標（89%） 〔50指標（83%）〕	6指標（11%） 〔10指標（17%）〕	56指標（100%） 〔60指標（100%）〕

※表中の〔 〕は令和3年度の状況

II. 計画期間終了後の中心市街地活性化基本計画の評価

各自治体が市街地の状況や中心市街地活性化協議会及び市民の意見等を参考に、計画した事業が順調に完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかについて総合的な評価を行った。

(1) 事業の進捗・完了状況及び活性化状況に係る自治体の評価について

- 対象16市町16計画のうち16計画すべてが、計画した事業が概ね予定通り進捗・完了したと判断されている。
- 対象 16 市町 16 計画のうち 12 計画について、各自治体の自己評価により中心市街地の活性化が見られたとされている。

【事業の進捗・完了状況】

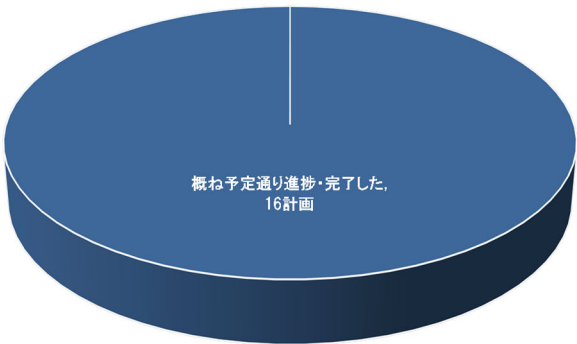
(計画期間終了後の状況)	概ね予定通り進捗・完了した	予定通り進捗・完了しなかった
計画数 (全16計画)	16計画	-

【活性化状況】

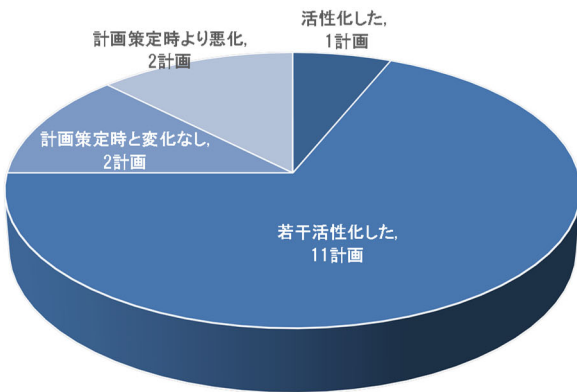
(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数 (全16計画)	1計画	11計画	2計画	2計画

※計画した事業は予定通り完了したのか、また中心市街地の活性化は見られたのかを、個別指標毎ではなく、総合的に自治体が判断したもの。

【事業の進捗・完了状況】



【活性化状況】

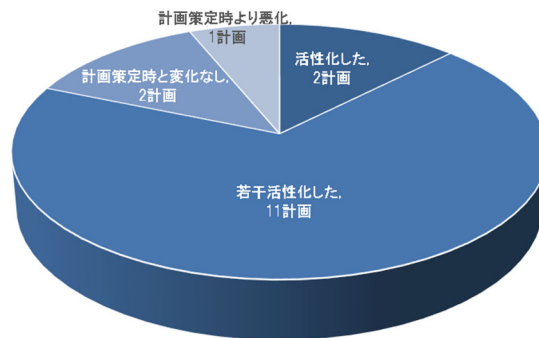


(参考①)中心市街地活性化協議会の評価について

- 対象 16 市町 16 計画のうち 13 計画について、各自治体の中心市街地活性化協議会から中心市街地の活性化が見られたとされている。

(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数 (全16計画)	2計画	11計画	2計画	1計画

※中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかを中心市街地活性化協議会として判断。

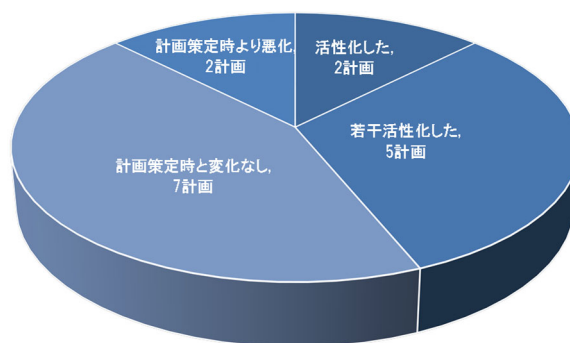


(参考②)市民からの評価、市民意識の変化について

- 対象16市町16計画のうち 7 計画について、各自治体の市民から中心市街地の活性化が見られたとされている一方、7 計画については計画策定時と変化なしとされている。

(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数 (全16計画)	2計画	5計画	7計画	2計画

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。



III. 目標指標分野別分析結果の概要

各自治体が最終フォローアップを行った目標指標を5分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成状況、基準値※からの改善状況等について分析した。

※基準値とは基本計画策定時の設定数値

(1)集計結果

目標指標分野別集計結果

○ 各自治体が最終フォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標達成の状況等について、以下の①～⑤の5つに分類した上で集計を行った。

達成状況	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
A	13	2	5	6	0	0
a	0	0	0	0	0	0
B1	2	0	0	1	0	1
b1	0	0	0	0	0	0
B2	7	2	3	2	0	0
b2	1	0	1	0	0	0
C	28	19	2	6	1	0
c	5	4	1	0	0	0
合計	56	27	12	15	1	1

＜達成状況の分類＞

- A 目標達成（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
- a 目標達成（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
- B 1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
- b 1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
- B 2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
- b 2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）
- C 基準値に及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了）
- c 基準値に及ばない（関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった）

＜目標指標分野と主な目標指標例＞

目標指標分野	主な目標指標
①にぎわいの創出	歩行者・自転車通行量、公共公益施設利用者数 等
②街なか居住の推進	居住人口、社会増減、市全体に占める中心市街地の居住人口の割合 等
③経済活力の向上	空き店舗数、新規創業数 等
④公共交通の利便の増進	公共交通機関利用者数 等
⑤その他	上記以外の指標として、令和4年度は、「公共的空間の利用率」が最終フォローアップの対象となっている。

(2)取組の進捗状況

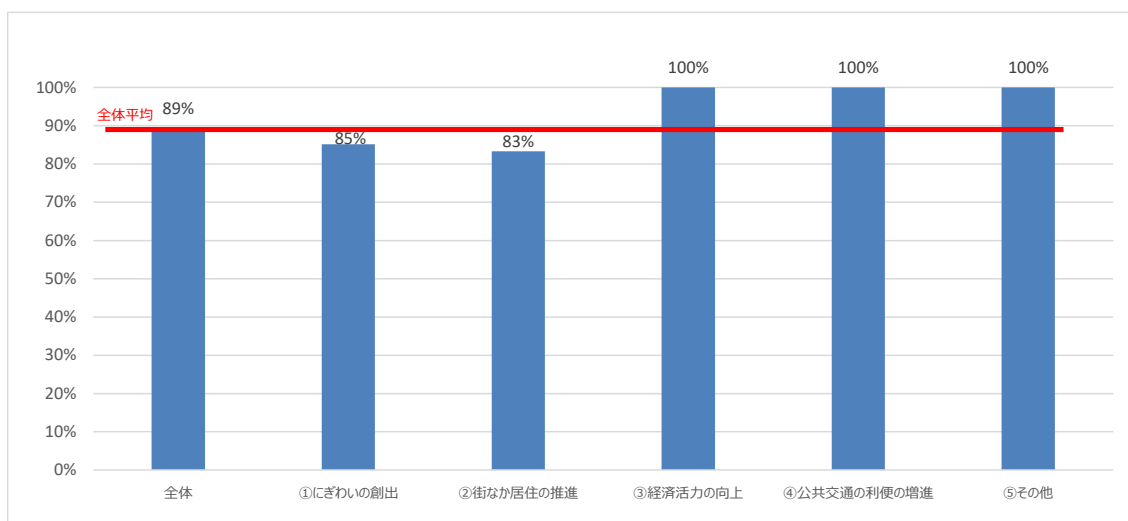
取組の進捗状況に関する分析結果

○「にぎわいの創出」、「街なか居住の推進」に関する取組が順調な割合は全体平均より低いものの、「経済活力の向上」は、15 指標すべての取組が順調に推移するなど、全体の 89% は順調に推移している。（前年度比で 6 ポイント増加）

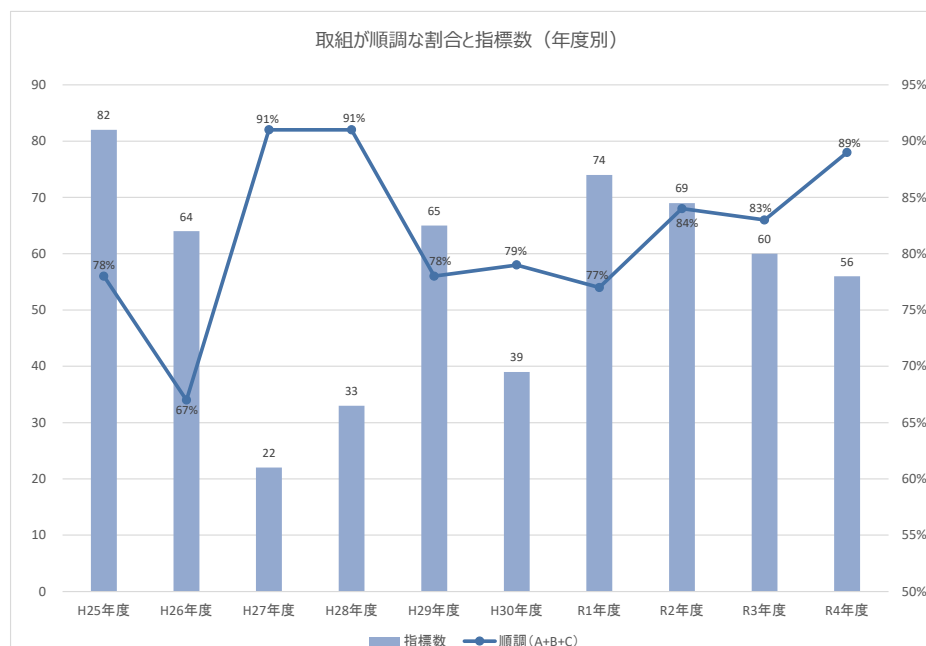
<各目標指標分野の取組の進捗状況の割合>

	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①順調 (A+B+C)	50	23	10	15	1	1
②順調でない (a+b+c)	6	4	2	0	0	0
合計 (③=①+②)	56	27	12	15	1	1
取組が順調な割合 (①/③)	89%	85%	83%	100%	100%	100%

<目標指標分野別の取組が順調な割合>



<参考：年度別の取組が順調な割合と指標数>



(3)目標達成の状況

目標達成状況に関する分析結果

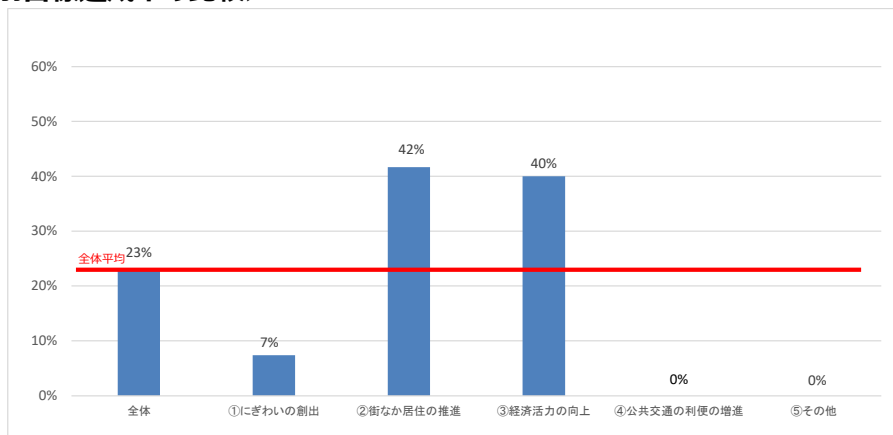
- 目標を達成した目標指標は、13指標で全体の23%である。（令和3年度 22%）
- 「街なか居住の促進」及び「経済活力の向上」の目標達成率は、全体平均を上回っており、一定程度、取組の効果が発現していると考えられる。
- 一方、「にぎわいの創出」については、新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの中止、公共施設等の利用制限などが影響し、全体平均を下回ったものと考えられる。

<各目標指標分野の目標達成状況>

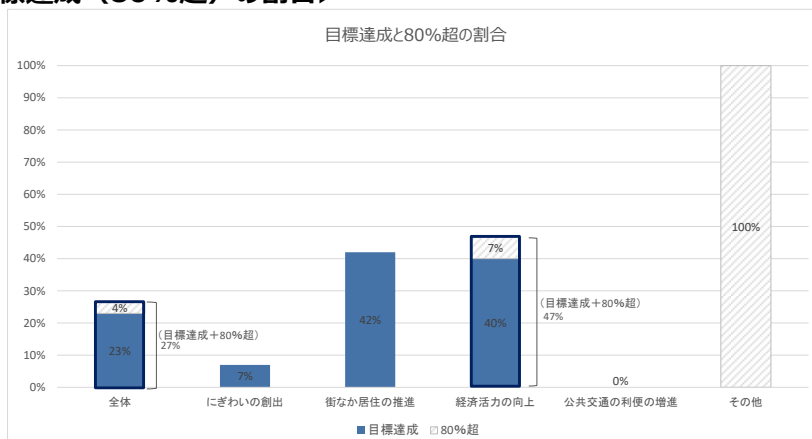
	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の促進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①目標達成 (A + a)	13	2	5	6	0	0
②未達成 (B + b + C + c)	43	25	7	9	1	1
合計 (③=①+②)	56	27	12	15	1	1
目標達成率 (①/③)	23%	7%	42%	40%	0%	0%
④概ね目標達成※ (A + a + B1 + b1)	15	2	5	7	0	1
概ね目標達成率 (④/③)	27%	7%	42%	47%	0%	100%

※概ね目標達成の基準は、基準値から目標値までの幅の80%を超えるものとする

<目標指標分野別目標達成率の比較>



<目標達成と概ね目標達成（80%超）の割合>



目標が達成できなかった主な要因

- 目標が達成できなかった 43 指標の主な要因は、次のとおりである。
- ① 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、目標指標の達成に影響が生じた。
 - ② ①以外の理由により、事業の遅延または未着手により、計画期間内に効果が発現しなかった。
 - ③ ①以外の理由により、事業は概ね予定通りに進捗したものの、当初想定していた効果が得られなかったことや、外的な要因により効果が相殺された。
- 目標が達成できなかった要因の事例については、下記のとおりである。
- ① の具体例について
 - ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響が残っており、外出自粛、イベントの中止、公共施設等の利用制限が発生したため、多くの自治体において目標指標の達成に影響が生じた。
 - ②の具体例について
 - ・ 震災の影響や風水害の影響により、イベントの開催が困難となったことや、事業の再検討が必要となった。
 - ・ 街なかへの居住推進の取組について、マンション需要の停滞により事業見直しの必要性が生じた。
 - ・ 関係者との合意形成が得られなかったことなどにより、回遊型イベントを開催できなかった。
 - ③の具体例について
 - ・ にぎわいの創出について、商業用ビルの建替自体は順調に進んだが、想定に反して空きテナント数が増加したことから、歩行者通行量に寄与できなかった。
 - ・ 街なか居住の推進について、入居世帯数自体は目標を達成したものの、1 世帯当たりの人員が想定より少なく、目標の人口数に届かなかった。また、全市的な人口減少が想定よりも著しく、中心市街地人口も増加に繋がらなかった。
 - ・ 経済活力の向上について、中心市街地商店街のエリアマネジメントに係る調査や研究を実施したが、既存ストックのリノベーションには結びつかず、空き店舗数の改善につながらなかった。

(4)基準値からの改善状況

基準値からの改善状況に関する分析結果

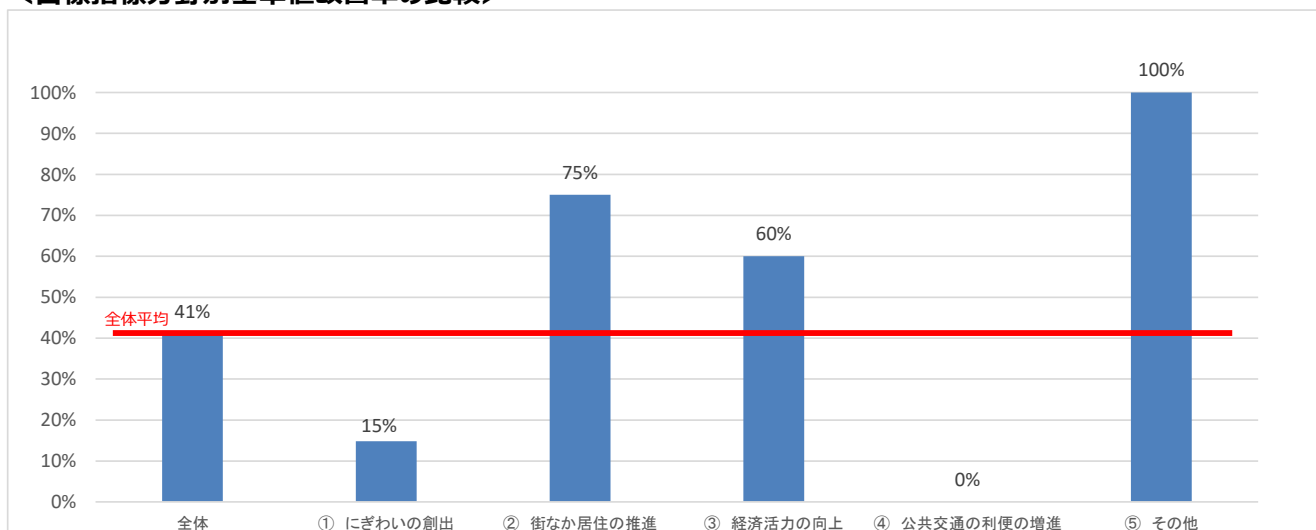
- 現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している目標指標は、全体の41%である。（令和3年度 40%）
- そのなかで「街なか居住の推進」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が全体平均を大きく上回っている。
- 一方、「にぎわいの創出」については、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベントの中止、公共施設等の利用制限などが影響し、全体平均を下回ったものと考えられる。

<各目標指標分野の改善状況>

		全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①基準値より改善 (A + <u>a</u> + B + <u>b</u>)		23	4	9	9	0	1
②基準値より悪化 (C + c)		33	23	3	6	1	0
合計 (③=①+②)		56	27	12	15	1	1
基準値改善率 (①/③)		41%	15%	75%	60%	0%	100%
上記のうち、 取組の進捗が 順調だったもの	①'基準値より改善 (A + B)	22	4	8	9	0	1
	②'基準値より悪化 (C)	28	19	2	6	1	0
	合計 (③' = ①' + ②')	50	23	10	15	1	1
	基準値改善率 (①' / ③')	44%	17%	80%	60%	0%	100%

※取組の進捗状況及び目標達成状況の分類（P4参照）のうち、「現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している」ものは、A、a、B1、b1、B2及びb2が該当する。

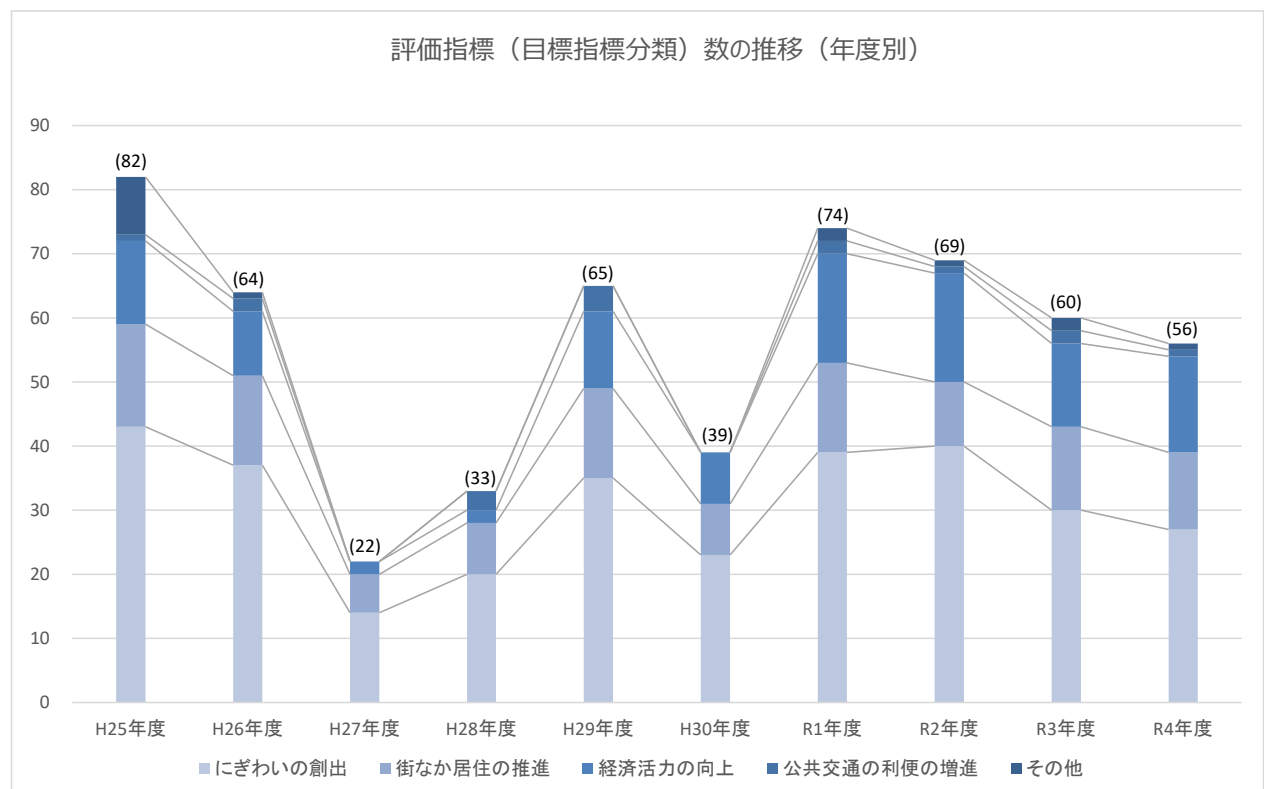
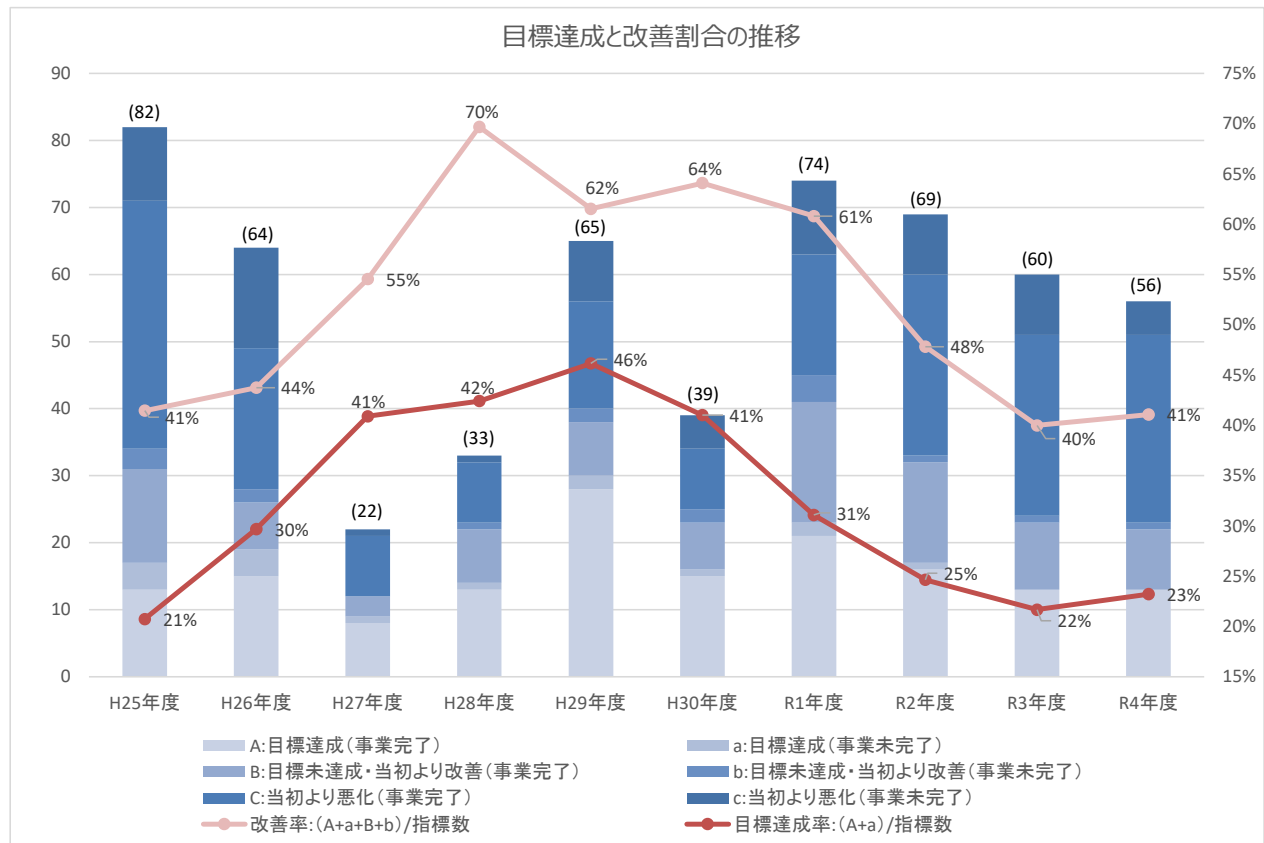
<目標指標分野別基準値改善率の比較>



評価指標数と目標達成状況の推移

令和5年7月現在、累計 150 市 3 町 276 計画の中心市街地活性化基本計画が認定を受け、そのうち 143 市 2 町 223 計画について、計画期間終了後に最終フォローアップ報告書を作成している。（次の計画期間に入っている自治体を含む。）

最終フォローアップにおける、各計画の評価指標（目標指標分類）数と目標達成状況の推移は以下のとおり。



Ⅳ. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	達成 状況	進捗・完了 状況	活性化状況			
						自治体 評価	中活協議会 評価	市民 評価	
平成28年6月17日認定									
茨城県	水戸市	まちなかににぎわいを創出する	歩行者通行量	C	①	②	②	③	
		まちなか居住を促進する	居住人口	B2					
		生活利便機能を再生する	空き店舗率	A					
東京都	青海市	街なか居住の促進	居住人口	C	①	②	②	③	
		経済活力の向上	新規出店数	A					
		回遊性の向上	観光案内所来所者数	B2					
平成29年3月24日認定									
福島県	いわき市	生活環境の充実によるまちなか居住の促進	中心市街地内の居住人口	b2	①	②	②	③	
		新規出店の促進による事業活動の活性化	中心市街地内の新規出店数	A					
		歴史・文化資源を活かした賑わいの創出	主要歴史・文化施設の入込客数	c					
熊本県	熊本市	にぎわいあふれる城下町	熊本城公園(熊本城、城彩苑等)への入込数、及び桜町・花畑周辺地区で行われるイベント来場者数	A	①	①	①	②	
		安心してずっと暮らしたいまち	中心市街地内の居住人口	A					
		誰もが訪れてみたくなるまち	熊本市内の宿泊客数	c					
平成29年6月23日認定									
大阪府	高槻市	来街機会の増加と回遊性の向上	歩行者・自転車通行量	C	①	②	②	①	
		歴史・文化施設の年間利用者数	C						
		経済活力の増進	中心市街地の新規出店数	C					
平成29年11月28日認定									
山形県	上山市	また来たくなるまち	回遊ルートの歩行者通行量(平日+休日)の平均	C	①	④	④	④	
		活力あふれるまち	商店街の歩行者・自転車通行量(平日+休日)の平均	C					
			中心市街地内の新規出店数	A					
			市民活動等施設利用者数	B2					
		みんなで創る住みよいまち	市全体人口に対する中心市街地人口割合	C					
平成30年3月23日認定									
埼玉県	寄居町	集客と回遊性の向上	歩行者・自転車通行量(平日)	C	①	②	②	③	
			歩行者・自転車通行量(休日)	C					
		立ち寄り場所・機会の充実	新規出店事業者数	A					
		住まい手・担い手づくり	居住人口の社会増減数	A					
東京都	八王子市	歩きやすく、憩いやすいまち	歩行者通行量(平日平均)	C	①	②	②	③	
		新たな老舗を生み出すまち	新規出店数	B2					
		買い物をするのが楽しくなるまち	小売業年間商品販売額	C					
佐賀県	基山町	にぎわいのある商業環境をつくる	4商店街の空き店舗率	B1	①	②	①	①	
		まちなかの居住人口を増やす	中心市街地の居住人口	A					
		まちなかに人を惹きつける	イベント来場者及び施設利用者数	C					
山形県	鶴岡市	居住の場、活動の場、交流の場としての中心市街地の再生	中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合	c	①	④	③	④	
		中心市街地のにぎわいの創出	自転車歩行者通行量(休日・平日平均)	C					
			商店街の空き店舗数	C					
			主要観光施設入込客数	c					
高知県	高知市	「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現	中心市街地の居住人口の割合	A	①	②	②	③	
		「多くの人が回遊するまち」の実現	歩行者通行量	C					
		「また訪れたいと思うまち」の実現	拠点施設入館者数	C					
岐阜県	岐阜市	リノベーションを活用した新たな商業担い手の創出	創業数	A	①	②	②	③	
		広域からも来訪したくなるような魅力の創出・発信による商業の振興	歩行者・自転車通行量	C					
		都市機能誘導施設等の誘導、維持、利活用	都市機能誘導施設等(公共施設)の年間利用者数	A					
		民間活用による居住空間の確保	居住人口の人口動態(中心市街地)	B2					
静岡県	藤枝市	都市機能集積による生活利便性の向上	居住人口[社会増]	A	①	②	②	②	
		個性的で魅力ある店舗の出店促進によるエリアの求心力向上	空き店舗数	C					
		街なかの活動・交流機会の創出による昼間の賑わいの向上	昼間の歩行者通行量	C					
		中心市街地外との連携による街なかへの集客力の向上	イベント来場者数	c					
愛知県	豊田市	まちなかににぎわい創出	歩行者通行量(昼間9～17時)	C	①	②	②	②	
		公民連携による活性化	フリーパーキング対象駐車場の総利用時間	C					
			公共的空間の利用率	B1					
鳥取県	鳥取市	地域資源等を活かした交流人口の拡大	文化観光・交流施設年間利用者数(5施設)	C	①	③	②	②	
		回遊・滞在による経済活力の向上	商業施設年間来店客数(5施設)	C					
			8商店街の事業所数	C					
大分県	大分市	若年層のまちなか暮らしの促進	中心市街地の45歳未満居住人口(社会増減数)	B2	①	③	③	②	
		伝統と革新の調和によるまちなか商業の活性化	空き店舗率	B2					
		魅力的な都市空間の創出による回遊性の向上	中央町・府内町間を往来する歩行者通行量(土日計)	C					
		多様な都市ストックを活かした交流機会の拡大	中心市街地循環バス「大分きやんばす」年間利用者数	C					
			主要文化・交流施設年間利用者数	C					

<各目標の達成状況> (自治体評価)

- A 目標達成 (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
 - a 目標達成 (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- B 1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
 - b 1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- B 2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
 - b 2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- C 基準値に及ばない (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
 - c 基準値に及ばない (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)

<事業の進捗・完了状況> (自治体評価)

- ① 概ね予定通り進捗・完了した
- ② 予定通り進捗・完了しなかった

<活性化状況> (自治体評価、中心市街地活性化協議会評価、市民評価)

- ① 活性化した
- ② 若干活性化した
- ③ 計画策定時と変化なし
- ④ 計画策定時より悪化